

# 02 にいがた2kmの秘密

再開発・IT系企業の集積が始まっています



「にいがた2km」とは

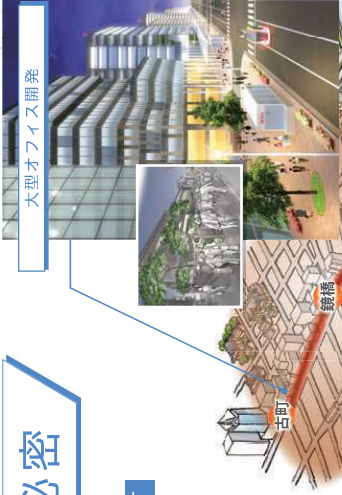
新潟市の中心地(新潟駅、万代、古町エリア)をつなぐほぼ2キロメートルの新潟のメインストリート周辺エリアの呼称。新潟市は、「にいがた2km」を成長エンジンとして、「次の世代も希望を持てる」、「好き！」や「楽しい！」を感じられるまちづくりに取り組んでいます。

※ロゴマークについて  
「2」は運動感覚。  
「k」は人。  
「i」は情報。  
「n」は新しい。  
「gata」は場所。  
「2ik」は新しいまちづくりを表現しています。

## 豊かな自然の活用

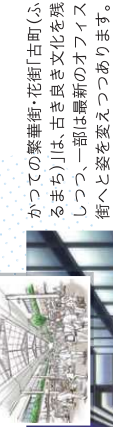


水上バスの運行や川岸での飲食・イベントエリアの設置、シテイサイクルなど、信濃川の水辺を生かした取り組みが始まっています。近隣の商業施設では、たくさんのお店や飲食店が立ち並び、ショッピングやイベントで街は活気にあふれています。



## 大型オフィス開発

かつての繁華街・花街「古町(ふるまち)」は、古き良き文化を残しつつ、一部は最新のオフィス街へと姿を変えています。



## 港を活かしたイベント

MICEをはじめ、大型のイベント開催が可能な大型展示ホール等、港周辺の海辺での賑わい創出のための施設が整備されています。近隣の新潟の食が集まる商業施設は、いつも観光客で賑わっています。



## 新潟駅周辺の再開発

2022年新潟駅周辺が大きく変わります。JR在来線が高架化され、線路で分断されていた新潟駅の南北が容易に通行人間となることで、新しい人の流れが期待されます。駅周辺のオフィスの建て替えが進み、首都圏のITベンチャー企業をはじめ、新しい企業による事業が芽吹き始めています。



## 特区制度等を活用したドローン実装への取り組み



- 市街地におけるドローン飛行の規制緩和、農業利用促進などドローン利活用に向けた取り組みを推進
- 2020年度に民間企業による長時間対空型の固定翼ドローンの飛行実証を支援し、約4時間の連続飛行を達成
- 2024年度に都市部(新潟駅南口エリア)では国内初となるドローン物流の実証実験に成功

## スタートアップ企業支援 食農分野のイノベーション促進



- フードテックの世界トレンド等をテーマとしたセミナー開催
- 市内事業者へアドバンス・スタートアップ企業とマッチング
- 新事業創出・集約コンサルティング支援
- 農業や農産物を活用した実証事業・テストマーケティングの実施

## デジタル技術の活用と異業種交流を通じ 新規事業創出を後押しする「DXプラットフォーム」



- 業種・業界の垣根を超えた会員企業同士がプロジェクトを立上げ、個社で取り組むことが難しい新規事業創出を目指す
- 市内11企業と産直加工業12社によるクラウドを活用した共同受注プラットフォーム構築を目指すプロジェクトをはじめ、様々なDXプロジェクトが活動中

## 市内大型コンベンション施設に 国内最大級5Gラボを開設



- 無柱4,455㎡の展示ホール(新潟市産業振興センター)に、大規模な展示会や見本市、各種大会などに対応できる5G環境を整備し、実証施設「5Gビジネスラボ」を開設
- 5Gを活用した製品やサービス、イベントなどの各種実証実験が実施可能

企業の垣根を超えた取り組み・次世代プラットフォームの整備 (新潟市経済部部長 産業・イノベーション推進課 TEL:025-226-1694)